SQUARE No. 110
習志野市国際交流協会会報
スクウェア 第110号 別冊
アラバマ青少年合唱団特集号
2015（平成27）年7月1日

アラバマ青少年合唱団から感動のメッセージ届く
素晴らしい出会いと友情が！

☆ローレル・プロクター:理事（Laurel Procter, Administrator of the Alabama Choir School ）

左：ローレル・プロクター
右：ドフ・プロクター

今回の日本の旅、特に習志野での経験は一生忘れません！習志野で出会った新しい友達のおもてなし、愛情、準備にさいてくださった多くの時間のおかげで、今回は私たちアラバマ青少年合唱団のこれまでの経験の中で最高の旅になりました。

私たちは今でも皆さまから受けた惜しみないおもてなしと出会った方々のことを話しあっています。習志野は本当に私たちの「姉妹」または家族だと感じています。来年の30周年にこちらでお会いできることを楽しみにしています。

私たちが空港に到着して、NIAの多くの皆さまのお出迎えを受けた瞬間から、おもてなしと愛情が始まりました。歓迎団の皆さまが並んで、笑顔でアラバマシェイカーを振って出迎えてくださいました。多くの皆さまの中で特にデビッドさん、ロミー、ジュン、ジェシカとすぐに親しくなりました。この絆は途切れることはないでしょう。たくさんの習志野の皆さまが多くの時間をさいて、習志野の素晴らしい場所に案内してくださり、この美しい国の歴史や文化を教えてくださったおかげで、私たちの旅は忘れられないものとなりました。また、メンバーがそれぞれ楽しめるようにしてくださったので、よりすばらしい旅になりました。習志野の皆さまの案内で、原宿のユニークな通りを歩いたり、ジュン、ロミー、ジェシカや他の習志野の女性と買い物を楽しんだりすることができました。その間に育まれた友情が手元の最高に楽しい写真に良く表れています。あの時の楽しさは一生忘れません。

文化ホールでの私たちのコンサートはこれまでの中でも最高の出来の一つになりました。習志野の友達のおかげです。熱心な聴衆であり、どんなときでも助けてくださいました。そして、ロミーが計画してくれた豪華なパーティー、素晴らしかった！！私たちの合唱団のメンバーと家族にとって本当に特別な時間でした。メンバーは、コンサートの前後で行った習志野高校の生徒さんとの交流がとても楽しかったと言っています。メンバーが日本の学生と小さな輪を作って、笑いあったり写真を撮ったり（自撮り）しているのを楽しく見ていました。言葉の壁を乗り越えてつながる絆。なんて素晴らしいのでしょう。メンバーにこの旅でどこが一番楽しかったかを聞けば、誰もが「学生と一緒に過ごしたとき。彼らとおしゃべりしたときと彼らの演奏を見ていたとき」と答えることは疑いありません。メンバーにとってあの交流は何よりもわくわくする思い出になりました。あのような機会を作っていただき、改めてお礼申し上げます。それから、東邦高校で私たちのバスが到着したとき、整列してお出迎えしてくださったときは胸にせまるものがありました。学校とご家族の皆さま全員が盛大に歓迎してくださり、学校のオーケストラとの共演の後、茶道、書道、弓道、武道の実演など、学校の文化活動を紹介してくださいました。お食事も大変美味しかったです。NIAの皆さまのおかげで実現した私たちの日本文化とのふれあいは、普通の旅行者は決して体験できないものでしょう。私たちの旅と絆は、掛け値なしに本当に特別なものになりました。学生たちの豊かな才能には驚きました。共に日々の活動を行う中で多くの友情が生まれました。本当に感謝しています。

皆さまにどうぞよろしくお伝えください。皆さまがタスカルーサにいらしたときにお会いできることを楽しみにしています。皆さまのことや美しい都市と心、素晴らしい出会いと友情について、今でも皆で話しています。

愛と尊敬を込めて

ローレルとドフ・プロクター

SQUARE 110 ●●●

経験でした。すべての子供たちが歓声とともに迎えてくれました。こじんまりした私的な学生パーティーに呼ばれ、私は（他の 2 名の団員も同じだと思いますが）とても光栄に思いました。機会あるごとに彼らと日本語で会話し、練習できたことは良かったです。東邦高校 3 年生のタイシンという文通相手もできました。彼とは次の日の朝、京都へ向けて出発するときにホテルで会ったばかりですが。とにかく、今回の日本旅行は夢のようでした。忘れられない光景と思い出でいっぱいです。他のメンバーも忘れないと思います。私たちを日本へ連れていき、すべての日程管理をしてくださった皆さまにはいくら感謝しても足りません。私の「したいこと」リストの中の「日本へ行く」が実現しました。

心に響く歌声！アンバサダー＆チェンバー合唱団

☆ミナ・プライス（Mina Price, ACS Parent）

習志野代表団から受けた歓迎は「本当に素晴らしかった」の一言です。子供たちは私たちに会って大変喜んでくれました。お返しに私たちが彼らを歓迎するためにどんなことをしたら良いかわかりません。全員から歓迎され敬愛されていると感じました。彼らの寛大さと親切にとても感謝していること、そして彼らの美しい市を訪れたことを誇りに思っていることをお伝えください。

☆ニルマラ＆マヤ・エレヴェレス（Nirmala (ACS parent) and Maya (Ambassador Choir) Erevelles）

習志野の学生、父母、教師の皆さまの心からの暖かいおもてなしに感動しました！学生さんたちの才能にびっくりしました。私たちへのお気遣いに心をうたれ、何度も涙しました。私たちに素敵な国を見せてくださり、また時間と生活をさいてくださり、ありがとうございました。

☆アラン、カイエ、アンナ、アレクシス、マデリン・ヘインズ（Alan, Kaye, Anna, Alexis, and Madeline Heins）

皆さん、（米国）中部時間帯に無事戻りましたか。私の家族は時差で真夜中に起きてしまい、また眠るのに苦労しました。でも、どんどん良くなっているようです。

日本への旅、特に習志野はとても快適でした。旅のハイライトは千葉工業大学と東邦高校の訪問、そして文化ホールでの習志野高校吹奏楽部とのジョイントコンサートでした。吹奏楽部の演奏は信じられないくらい凄くて、米国の多くの大学バンドよりレベルが上だと思いました。習志野の歓迎会とおもてなしは最初から最後まで素晴らしかったです。姉妹都市の皆さま、私たちの訪問を素晴らしいものにしてくださり、ありがとうございます。

☆デボラ＆マリー・キャサリン・チャンブリス

（Deborah and Mary Catherine Chambliss）

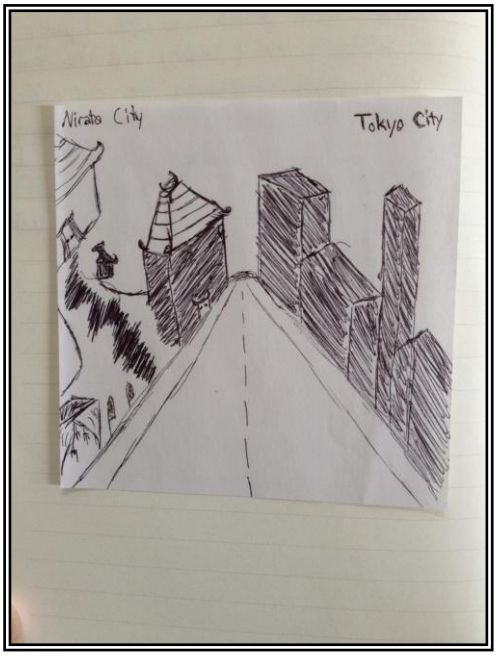
旅のすべてが素晴らしい経験でした！

学生たちは同年代の仲間に会って本当に楽しんでいました。寺院観光や食べ物も楽しんでいました。また、おしゃべりしたり、踊ったり、笑い合ったりして、お互いがとても似ていることを認識しました。

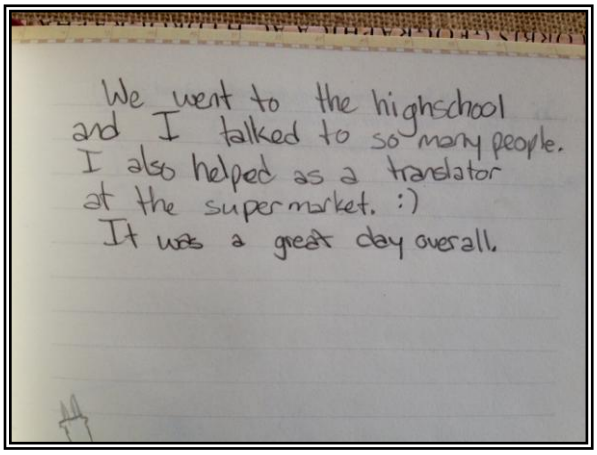
コンサートは大成功でした。合唱の出来栄えは素晴らしく、聴衆も本当に楽しんでいました。吹奏楽部はオーケストラのようで本当にすごい才能！最期のミュージカル

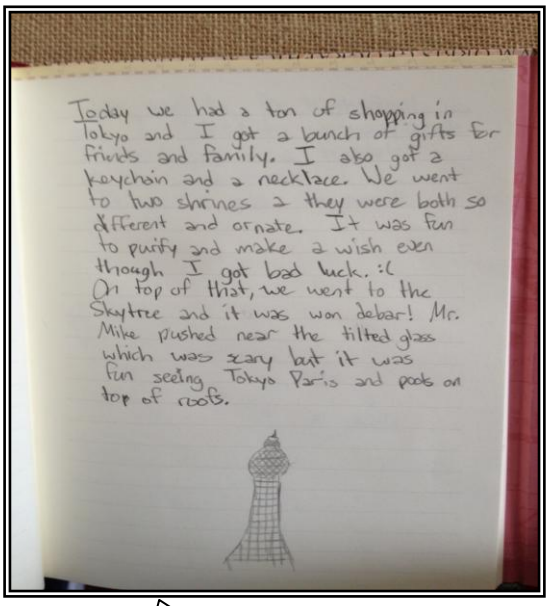
観客と一体となった習高吹奏楽部の演奏！

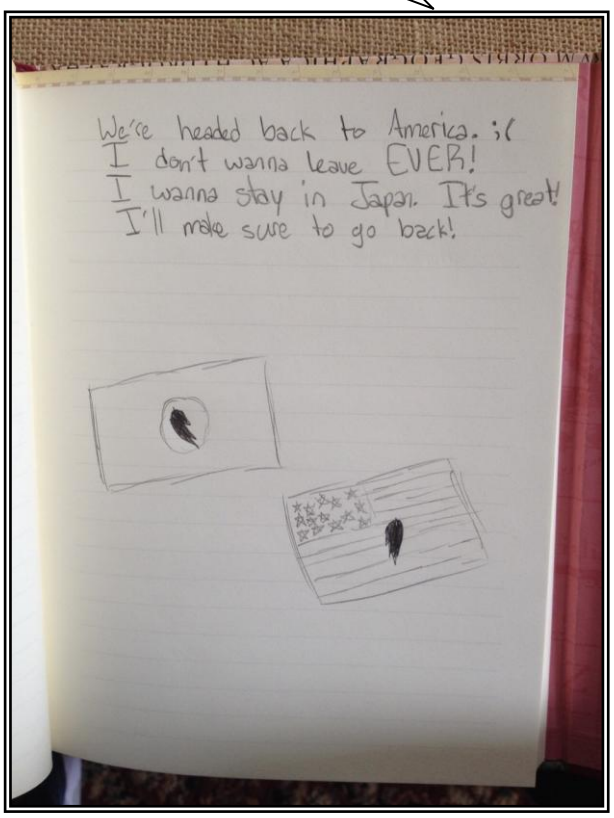
SQUARE 110 ●●●



高校に行ってたくさんの人たちと話しました。スーパーマーケットでは通訳の手伝いもしました。全体としてとても良い一日でした。





今日、私たちは東京でどっさり買い物をして、友達や家族にたくさんお土産を買いました。キーホルダーとネックレスも買いました。二か所の神社に行きましたが、とても違っていて飾りがたくさんありました。お清めをしてお祈りをしたのは楽しかったです、（おみくじでは）悪い運に当たったけど。
さらに、スカイツリーに行きました。それは素晴らしい眺めでした。
マイクさんが斜めになっているガラスの近くで押したときはとても怖かったですが、東京のパリや屋上のプールが見えて面白かったです。

今、アメリカに向かってる（泣）
帰りたくないよ～！日本にいたい。
楽しかった！絶対また来る！